

公表

## 放課後等デイサービス事業所における自己評価総括表

○事業所名	ルペリ		
○保護者評価実施期間	2025年 2月 1日		2025年 2月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	16	(回答者数) 11
○従業者評価実施期間	2025年 2月 1日		2025年 2月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 9
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 1日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・平日・土日祝問わず、様々なイベントを用意している	・運動・工作・料理・外出支援など様々なイベントを実施している ・発達段階に応じて療育の内容を変化させている	・以前に取り組んだイベントは内容を変化させて取り組めるようにする ・5領域や各利用者の課題に応じたイベント内容を提供する
2	・日常的に児童発達支援との関わりがある	・学校で学んだ知識を他者に教えたり、他児の見本になる場面を意図的に作っている	・チームの中でリーダーシップを発揮できる環境作りを行う
3	・様々な年齢に対応できるおもちゃが充実している	・利用者の様子に合わせておもちゃを購入している ・年齢に合わせたおもちゃの遊び方を提示している	・古くなったおもちゃの買い替えを行う ・利用者の興味に合わせた遊び方を提案する

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・気持ちをリラックスさせる場所がない	・施設全体が拓けているため個室や一人で落ち着ける空間がない	・マットで視界を遮り落ち着ける場所を作る ・クールダウンできる場所の設置
2	・学習スペースが少ない	・専用の学習スペースはあるが利用者が2名ほどしか座れるスペースしかない ・専用の学習スペース以外で学習に取り組む場合、遊んでいる他児の様子が視界に入り、集中できないことがある	・視界を遮るパーテーションや防音のイヤーマフなどを活用し、学習に取り組みやすい環境作りをする ・学習机と机上遊びの机を分ける
3	・運動遊びについて制限が必要な場面がある	・児童発達支援と同じ空間で過ごすため、利用者の安全面を考慮して遊び方を制限しなければならない場面がある ・スペースの確保が難しい場面がある	・時間帯に応じた活動内容を展開し、運動遊びをしたい利用者の希望に応えられるようにする

公表

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果

事業所名 ルベリ

公表日 2025年 3月 31日

利用児童数

16

回収数

11

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	9			2			
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	9			2	いつも手厚く見てくださっています	引き続き適切な療育ができるよう努めてまいります。	
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	11				声の大きさ等の紙を分かりやすく貼ってくださっています	子どもたちにわかりやすいよう視覚的な教材を壁面に貼っております。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	11						
適切 な 支 援 の 提 供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	7	2		2			
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	9			2			
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	11				子どものことをしっかり理解して下さっています	今後も子どもたちのことを理解したうえで個別支援計画を作成してまいります。	
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	10	1					
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	11						
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	10				1	いつも色々なイベントでありたいです	あたたかい言葉ありがとうございます。今後も様々な活動プログラムを提供できるように努めてまいります。
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	6	1	1	3			
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	11						
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	11						
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	7	1	1	2	家族も参加できるイベントで妹も楽しみにしています	ご家族のみならず参加できるプログラムを今後もご案内できるよう検討してまいります。	
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	11						
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	9	2					
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	10	1					
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	6		2	3	家族・兄妹イベントの開催がもっとあったら嬉しいですが保護者会というものは参加したことがないので分かりません。あれば利用してみたいです。	今後、ご家族の方も参加ができるイベントを増やしたり、保護者会が開催できるよう検討させていただきます。	
19 子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	10		1			相談させてもらったらすぐに対応していただき感謝しています	今後もご相談に対して迅速に対応させていただきます。	

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	10	1			
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	6		1	4	SNSは見していないのでわかりません ホームページにて活動内容や自己評価の結果を発信させていただいております。またInstagramにて日々の様子も載せておりますので、ぜひご覧いただければと思います。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	11				
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	9			2	
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	9			2	避難訓練等定期的に行っています 今後も年に2回、避難訓練を実施してまいります。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	9			2	
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	10			1	
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	11				
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	11				とても楽しんでいます 今日は何をするのかなと楽しみにしています 楽しみながら通所していただけるよう様々な活動プログラムを準備してまいります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	11				みんないい先生ばかりだと思います 本当にいつも成長させていただいています あたたかなお言葉ありがとうございます。今後も事業所の支援にご満足いただけるよう引き続き努めてまいります。

公表

## 放課後等デイサービス事業所における自己評価結果

事業所名		ルベリ				公表日	2025年 3月 31日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8	1		宿題が良い環境では行えていない（音や目からの情報が多いときがある）と感じるため、スペースの確保が課題であると感じる		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	3				
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	9		視覚的なところから情報が入りやすいような写真や掲示物を活用している			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	9		運動が出来る場所と机で落ちついてできる場所をしっかりと分けている			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	9		ブレイルーム以外にも個室があるため活動に合わせて環境の調整ができています			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	9					
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	2				
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9		普段から話しやすい環境を作ってくれている			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6	3				
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	9					
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	9					
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	9					
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9		全体への共有もしっかり行われている			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9					
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8	1				
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8	1				
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	9		色々なアイデアを出し合うようにしている 上手くいった活動は共有し再チャレンジする			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9		月ごとに変化させている			

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	9			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9		一日の流れの共有をしている	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	3	振り返りを翌日にしている 翌日の始業前に共有している	支援終了後に全体へ共有することが難しいことがあるため、職員同士で連携して時間確保に努めることが課題
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8	1		
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	8	1		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	9		本人の意思を元に支援を組み立てられるようにしている	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	2		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	4		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6	3		保護者を通して共有してもらうことが多いため、学校との連携をもっと深める必要がある
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5	4		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5	4		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4	5		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	2	7		
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	2	7		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9		保護者と支援の相違がないように直接確認を行ったりしている	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7	2	親子イベントにて職員と保護者や保護者同士での交流の場がある	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9		本人の希望の聞き取りを行い支援に反映させている	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	9			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9			

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5	4		保護者同士が交流できる機会があれば悩みの共有などができると感じるため、保護者も参加ができる活動を展開していくことが課題であると感じる
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	9		個人情報に留意したうえでブログ・Instagramを投稿している	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9			
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9		その子に合わせてた声掛けや掲示物を心がけている	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	6		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9			
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9		イベント等で定期的に訓練を行っている	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	9		研修を行うことで確認しあえている 資料や実践を交えて行っている	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	9		毎日おやつの際は職員間で確認し合うようにしている	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9		危険箇所を定期的に出し合い対策を行っている	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	9			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9			
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	9				